

県地域医療支援センター  
徳大病院設置

記念シンポジウム

医師の地域偏在解消に向けた医師育成支援などをテーマに「徳島県地域医療支援センター」が徳島大

学病院（徳島市）に設置されたのを記念するシンポジウムが17日、同大病院であり、大卒関係者ら約200人が出席した。

センター長の安井夏生同大病院院長が「研修医や若手医師が主役となって地域医療を支えてほしい」とあいさつ。副センター長を務める同大ヘルスサイエンス研究部の赤池雅史教授が、医師不足の解消をセンターの役割について説明した。

また徳島大医学部付属

病院の林寛之教授が記念講演し「地域の特性に合った治療こそ本場の地域医療」

「専門分野だけでなく幅広い知識を持つことが自分のため、患者のためにも必要」などを話した。

センターは県からの運営委託を受け、昨年11月に設置された。  
(大塚康代)